



朝会での話を簡潔にまとめて紹介します。

11月19日 「新町小と外国とのつながり」

皆さん、おはようございます。

16日の土曜日は、イングリッシュデー、インターナショナル・フェスティバルでした。多くの保護者の方や地域の方にも、皆さんが頑張っている様子を見ていただくことができました。ゲストティーチャーの方に、それぞれの国のことを紹介していただきました。いろいろな国のことが分かって、とっても良かったですね。(フェスティバルの写真を提示)

また、皆さんから、日本や徳島の文化、新町の町のことや小学校のことを紹介しました。日本のことや徳島のこと、そして新町小のことを知ってもらえることができて良かったです。(各教室の写真を提示) 外国語の時間の学習を生かして、ゲストの人とも、思っていることを伝え合ったり、一緒に活動したりできました。新町小ならではの素晴らしい時間でした。皆さん、よく頑張りました。

さて、校長室に外国のペナントが飾ってあります。見たことあるかな?(写真を提示)

問題です。このペナントはどこの国のもの?(3択クイズ)

1. ドイツ 2. ポルトガル 3. カナダ (2番に手を挙げる子どもが多い。)

正解は、2番のポルトガルです。ポルトガルは、日本から遠く離れたヨーロッパにあります。(地図を提示) 拡大してみると、ここがポルトガル。(地図を提示) ポルトガルの真ん中にあるレイリア市からいただいたものです。

徳島市とレイリア市が姉妹都市となり、新町小学校もレイリア市第6小学校と、1992年に姉妹校となりました。その次の年には、なんとポルトガルの大統領が新町小学校に来て、見学をされたそうです。その後も、レイリア市の方が4回ほど新町小に来ています。それだけでなく、児童の作品の交換などもしています。私が7年前に新町小にいたときも、第6小学校の先生方が新町小に来ました。(写真を提示) 次の年には、レイリア市の方に図工の作品を送りました。

以前から、新町小学校は、外国との交流がさかんだったことが分かると思います。だから、他の学校にはないイングリッシュデーのような行事がずっと続いています。

このペナントは、校長室だけでなく、別の場所にも飾っています。また、学校の中から、探してください。